



friendship force  
WESTERN TOKYO

2022（令和4）年12月号

F F 西東京クラブ会報第36号

1

## 日本大会 in 新潟

田中満穂

私達夫婦は2019年FFクラブ入会なので、コロナで活動休止のあと初めての日本大会に興味津々で参加しました。

新潟駅につくとすぐに迎えのバスが駅広場に待っていて、そこから1時間弱の月岡温泉ホテル華鳳へと案内されました。着いてびっくり、これほど豪華な和風ホテルがあるのかと思うほどの豪華なホテルが目の前にそびえていました。広大なロビーも壁はすべて高級木材で作られ、大きな日本画がいくつも飾られていました。

到着後、部屋に入るとすでに到着していた他クラブのメンバーが歓談していました。そして、午後2時より早速第一日目のセッションが大広間で始まり、参加クラブの紹介、新潟クラブ吉森会長の歓迎の挨拶、ジェレミ会長の挨拶、吉森会長による新潟クラブ40周年の歩みの発表が、午後4時半頃まで続きました。

6時半からは、いよいよパーティが別の大広間で始まりました。新潟クラブと長年のご縁のある箏者と尺八の演奏があり、華やかな幕開けでした。

二日目は中庭の集合写真のあと、ジェレミ会長のスピーチ「これからのFFの在り方」があり、その後、FFIボードメンバーの小泉佳子氏（札幌クラブ）の発表「そうだったのかFFI」、その後、金元勅子氏（リジョナルサポートアジア）の日本現状の報告がありました。とりわけ皆の注目をあびたのは、コロナ禍による組織存続の危機に、世界中のFFクラブの中で一人当たりもっとも多く寄付を寄せたのは日本であったという報告です。

昼食を挟んで、午後は小さなグループに分かれての分科会が、3回にわたりメンバー総入れ替えで行われました。

最後にブロック会議が開催され二日目のワークショップを終了しました。



そして、夜は盛大なさよならパーティー。新潟クラブを皮切りに、札幌、静岡、大阪、奈良クラブなどの華やかなパフォーマンスが繰り広げられ、ジェレミ会長のみならず息子さんのブルックストン君（11才）も一緒にステージに上がり、踊りの輪に加わっていました。

吉森新潟クラブ会長の最後の心のこもった「さようなら」（さようなら さようなら きみにあえてよかった〜ととてもたのしかった〜）の歌声が皆の心を揺さぶりました。

最終日3日目は参加者各自の希望のコースに分かれたエクスカージョンで、午前中いっぱい新潟を楽しみました。私は北方文化博物館を含むツアーに参加。この博物館は、日本有数の豪農で新潟クラブ初代会長の伊藤文吉氏が残した、広大な敷地に収まる個人家屋兼博物館です。新潟県の豊かさを象徴するこの豪農文化はこの伊藤家だけではなく他にも市島邸などもあり、明治時代には日本の高額納税者上位10人のうち大多数が新潟県出身者であったとのこと。改めて新潟県の豊かさと伝統文化の豊かさを再認識しました。

初めての日本大会に参加して、私は、もう半世紀以上まえの高3、18歳の時のことを思い出しました。AFS奨学生としてアメリカの高校に1年間学んだその時に、AFS組織本部から提唱されていたのは「世界の高校生の交流を通じて、世界平和と相互理解を促進する」との、高邁な精神的ゴールでした。ここ新潟に来て、あの時と同じFFIの真髄に触れて、感慨深い経験をする事が出来た3日間でした。





## 生田緑地イベント

佐藤 薫

梅雨の時期となり、お天気が心配されましたが、幸いにも良い天気、朝10時、10名の仲間が向丘遊園駅に集まりました。徒歩10分でビジターセンターへ。マップをもらい、まず今盛りの菖蒲園。美しい花を観賞したのち、民家園へ向かいました。ここは江戸時代の古民家、水車小屋など25もの古い民家が全国から集められています。幾つかの古民家では、囲炉裏でボランティアガイドさんが火を焚いており、家の説明を聞くことができました。その後中央広場近くの林で、持参のお握りなどでランチタイム。

それからモダンな建物の岡本太郎美術館へ。太郎さんデザインの様々な椅子に座ってみたり、その他迫力有る岡本太郎芸術を味わいました。(岡本太郎の熱いエネルギーをもらい元気が出ますね。)

最後は美術館のカフェ、気持ち良いテラス席でコーヒータイム。

久しぶりに会った面々でおしゃべりに花が咲きました。

あっという間に3時となり、科学館でプラネタリウムのショーを観るグループと帰宅するグループに分かれ、解散となりました。

いやあ楽しい一日でした。皆さんありがとう！



10月6日に予定していたBBQは、今回も雨で延期となりそうだったので、急遽、高垣さん宅でBBQパーティーをすることになりました。全員で10名の参加で、その中には懐かしいデビーさんがいらっしゃいました。4年ぶりの再会でした。前回来日していた時には、学習院大学に通いながら西東京の会員の方々に英会話を教えて下さっていました。私もそのなかの一人でした。現在、デビーさんは早稲田大学で博士号を取得するために再来日しています。当日は朝から雨でしたので庭にテントをはって、その下で男性陣が焼いて、お部屋で頂きました。

各自が食材を持ち寄ってのBBQは石井さんの畑の美味しい野菜はじめ、牛肉、鶏肉、ソーセージ、魚、餃子、デザート、果物、煮物と、沢山の食べ物が並び、さらに高垣幸子さんが栗ご飯やキノコ汁を作って下さって、大満足のお食事会になりました。

食後は次から次へと楽しい語らいが続き、デビーさんの日本への造詣の深さに大いに感銘を受けました。あっという間で、気がついたらもう4時でした。久しぶりに楽しい時を過ごすことができました。

高垣さんご夫妻のご厚意に感謝いたします。



## **FF活動の回顧、今後への期待**

**石井健二**

新型コロナウイルス感染症の世界流行は、3年を経て、収束とは言えないまでも共存して行けそうな見通しとなり、Friendship Force (FF) の対面での受入・渡航の再開に向けた検討が始まっています。国内では日本大会がこのたび、3年ぶりに新潟クラブの尽力により開催され、FFI本部Jeremi Snook会長出席のもと、全国から150名を超える会員が集いました。現状を再認識すると共に、志を同じくする元気なお仲間との久々の再会を喜び、意義あるFF活動の継続を確認しました。この3年、FFIは、本来の対面での交流交換がないため、収支の逼迫などの困難に見舞われました。そしてクラブは、高齢化、モチベーション低下等の課題に直面しました。課題は西東京クラブも例外ではなく、会員の減少傾向が顕在化しているようで懸念しています。30余年前、故佐原勇さんが、大西宣也さんと協力して東京クラブから独立、設立した西東京クラブは、代々の役員・会員の熱意・協力に支えられて、活動が次第に充実、会員数もコロナ前には40人を超え、中規模クラブへと成長しましたが、現時点で30名強と聞いています。FF活動の継続は今岐路にあり、成否は、FFIのリーダーシップの下、それぞれのクラブのひとりひとりの会員の肩に掛っているのではないのでしょうか。私は、国境を越えて友情を育てることが国際平和の実現につながるはず、手段として、短期間とは言えホームステイを通して生活を共有するのが有用とのFFの理念に共鳴し、参加しました。この活動が世代を超えて継続することを願っています。

このたび会報編集ご担当から、投稿を依頼されたのを機に、クラブ発展の経緯・歴史を振り返り、書き物として残し、今後の参考にして頂くのが、クラブの運営にも関わらせて頂いた私の務めではないか、との想いに至りました。そこで、クラブの活動記録に当たり、ベテランの会員さんにお話を伺うなどして少しずつ書き進めています。事実は正確を期しますが、感想、願いも含むエッセイ風の仕立になるかと思っておりますので、発表は、クラブのホームページ（会報ではなく）の会員の頁に掲載させて頂く方向です。出来れば年内にまとめたいと思っております。

脱稿し掲載の運びとなりましたらお知らせしますので、ご一読いただければ幸いです。



西東京クラブ主催の日本大会を2年後に控えていたころ、私は、柳川会長のもとで事務局としてお手伝いさせていただいておりました。当時事務局は一人でしたので、お話しする機会も多く、度々「あなたの言うことはうちのワイフと実によく似ている」

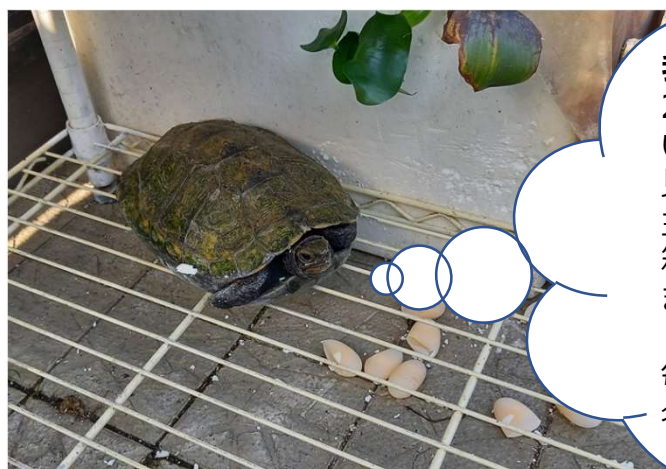
「今朝家で言われたことと同じことをここでも言われた」などと苦笑されたものです。奥様とは受け入れの時にお会いするくらいでしたが、ある時から親しくお話をするようになり、すっかり意気投合致しました。FFでの渡航は少なかったですが、つくし野にいらしたころは、受け入れは毎回のようになされ、洗練されたおもてなしや堪能な語学力をバックに、ご主人様の後方支援をしっかりとなさっていました。ご自身は、ボランティア活動を一生懸命なされ、つくし野にいらしたころは、ご自宅を開放され、バザーを20年間続けられました。学生時代のお友達数名と、盆暮れの贈答品、手づくりの手芸品、ケーキ クッキーなどなど、売り上げにご自分たちの寄付も加えてすべて難民支援の団体に送られていました。三軒茶屋に移られてからは、地元の赤十字や、難病の子供を持つ家族を支える活動など、労を惜しまず参加されていました。FFには、お一人になられてからのほうが出席される機会が増えたようです。もう少し一緒にさせていただきたかったです。西東京クラブの発展に大きく貢献して下さいました。柳川ご夫妻、本当にありがとうございました。

## 語学コラム

次の単語・短文のうちフランス語はどれでしょうか？

- |  |              |
|--|--------------|
| ①boutique (ブティック)  | 店、洋装店        |
| ②market (マーケット)  | 市場           |
| ③supermarché (スーパーマルシェ)                                  | スーパーマーケット    |
| ④shop (ショップ)   | ショップ         |
| ⑤Wie heißen Sie ? (ヴィ・ハイセン・ズィ?)                          | お名前は？        |
| ⑥Comment allez vous ? (コマンタレ・ヴウ?)                        | お元気ですか？      |
| ⑦Comment vous appelez vous ? (コマンヴウザブレヴウ?)               | お名前は？        |
| ⑧Enchanté (アンシャンテ)                                       | お会いできて嬉しいです。 |
| ⑨Es freut mich Sie kennenzulernen. (エスフロイトミヒジーケネンツーレルネン) | お会いできて嬉しいです。 |
| ⑩Viel Spaß ! (フィールシュパース)                                 | 楽しんで！        |

解答は最後のページにあります

**我が家のペット****菅沼益子**

20数年前、息子が、どこかの家で飼われていたらしい亀が脱走？をして道路に居るのを見つけて、家に持ち帰りました。動物好きの主人が、2階のベランダで発泡スチロールの箱に水を張り、布袋草を入れて世話をしています。

今では、体は2倍ぐらいの大きさになり、毎年初夏に卵を産みます。  
名前？ ただ、「カメ」です。

**思い出深いアンバサダー 松塚邦子**

思い出深い受け入れは7年前になりますが、ブラジルのアンバサダーの母親と40才ぐらいの息子さんです。息子さんはシステムエンジニアとのことでしたが独身です。

頂いたお土産はブラジルのサッカーチームのユニホームとバンダナでした。近くに住む6年生の孫がサッカーに熱中していたもので大変喜びました。右の写真はそれを身に着けた孫です。



息子さんはメイドカフェに行くことを希望して秋葉原に案内、店には息子さん一人で行きました。右の写真はその時ので、母親が手に持っているのは息子さんが秋葉原で購入した装飾の日本刀です。頂いたお土産もですが、日本に対する趣味についても忘れがたい受け入れでした。

**こんなおみやげ、もらいました！**

▶ フロリダ、オーランドクラブ受入の時に我が家にお泊めした、アニタ、ロー、ご夫妻の奥様お手製のサロンエプロンです。

ご夫妻にとってFF入会後初めての渡航とあって、どんなお土産にしたらよいか迷った挙句、丹精込めた手作りのエプロンをプレゼントして下さった、思い入れがひしひしと伝わってくる作品です。

オーランドとのズーム交流会の時にエプロンを付けて出た私に、オーと言って両手を広げてらっしゃいました。

(加藤幸子)



## 今後の予定

12月17日(土) 14:00～ 忘年会 つくし野  
 12月19日(月) 19:00～ 拡大役員会 ZOOM  
 1月15日(日) 19:00～ 役員会 ZOOM  
 1月21日(土) 13:00～ 役員会 対面 つくし野  
 2月4日(土) 11:30～ 総会

(レンブラントホテル町田 龍皇)

4月 ゴールドコースト 受け入れ  
 6月 ルーマニア渡航(シビウクラブ)  
 8月 英語研修 オーストラリア  
 10月 ニューカレドニア 渡航

## PC教室

毎月 第一月曜 19:00～

## 会員状況

会員数 37名

入会 田中富美子 田中心桜(お孫さんでs j)

退会 工藤澄子 稲富利生 千田幾子 高石美保子  
 寺田彰浩 寺田照美 柳川由紀子



## 編集後記

◆結婚以来約5年間で4回引っ越しをする、例によってデザイン担当の中川です。今回はポストコロナが見えてきて、交流の復活が感じられる楽しい会報となりました。また、小旅行やBBQなども行われ、楽しそうでよいなあと思いました。私事ですが、娘が七五三を迎えることができました。また、溝の口近郊にマンションを買ったので、次が最後の引っ越しとなることを願っております。(中川)

◆今号は、戸ヶ崎満里さんに代わって、中川貴文さんに奮闘していただきました。会員の皆さんが、執筆依頼や写真提供に、快く応じて下さったので、とても助かりました。渡航も受け入れも無い中で、7ページ、けっこう盛りだくさんの内容になりました。(八塚住子)

## 【3ページ・語学コラムの答え】

①boutique, ③supermarché ⑥  
 comment allez vous? ⑦comment  
 vous appelez vous? ⑧enchanté

大人の  
**ホームステイ**

草の根の国際交流団体  
**“フレンドシップ・フォース”**  
 は世界中で市民間の交流を行っています。  
 貴方も仲間に加わりませんか。

お問合せ先  
 フレンドシップ・フォース西東京クラブ  
<https://ffw-tokyo.org> [info@ffw-tokyo.org](mailto:info@ffw-tokyo.org) 今村

■フレンドシップ・フォースとは  
 お互いの文化を理解し、認め合い、友情を深めながら世界平和に貢献することを目的とする非営利の国際交流団体です。1977年ジミー・カーター元米国大統領の賛同のもと、ウエイン・スミス氏が設立。本部は米国アトランタ。世界的に60か国に350以上のクラブ、日本には26のクラブがあります。



発行日：2022年12月17日 第36号  
 発行者：ザ・フレンドシップフォース  
 西東京クラブ  
 綾瀬市上土棚北5-3-10  
 Tel/Fax 0467-77-6172  
 会報担当 八塚住子 戸ヶ崎満里  
 中川貴文  
 ホームページ <http://ffw-tokyo.org>  
 担当：戸ヶ崎正次